

### 3 卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

#### 【臨床検査技師養成科】

臨床検査技師養成科の卒業認定方針は、豊かな教養と優れた人格を備え、科学的思考を基盤として、問題解決意識を常に持ち、あらゆることに対して向上心を持ち、医療現場において臨床検査技師の役割を認識し、他の職種と連携を図りながらその責務を果たせる能力を持つこととする。

#### 【管理栄養科】

管理栄養科では、豊かな人間性と高い職業倫理観を備え、疾病の予防、回復、医療・福祉等に貢献でき、QOLの向上を目指して栄養の評価・判定に基づいた確かな栄養補給、栄養教育、他領域との連携ができる管理栄養士を目指している。卒業認定方針は、以下の能力・知識・技能を身に付けていることとする。

1. 管理栄養士の資格を取得するために必要な能力と知識。
2. 栄養に関わる職業人としての倫理観。
3. チーム医療の一員として他職種と連携し、栄養管理や栄養指導が実践できる。
4. 地域の特性を理解し、健康の保持・増進、疾病の予防や回復に貢献できる。

#### 【保健看護科】

保健看護科の卒業認定方針は、以下の能力を身に付けていることとする。①人間を総合的に理解し、人権を守る姿勢をもって行動ができる。②豊かな人間性を持ち、人々の幸福や苦悩を共感できる。③他者との関わり合いから多様な価値観を受け止め、良好な人間関係を構築できる。④看護の対象を生活者として捉えることができる。⑤科学的根拠に基づいた基本的看護技術を習得し、看護の対象がおかれている状況に応じて柔軟かつ創造的なケアが実践できる。⑥地域の人々の健康な生活を支えるための保健活動ができる。⑦変化する国際社会において、看護が担う役割を国際的な視野で認識できる。⑧社会情勢を的確に捉え、看護専門職の立場で社会のニーズに対応する態度を身に付けている。⑨看護の対象に関わる多様な職種の専門性を理解し、連携・協働することができる。

## 【臨床工学専攻科】

臨床工学専攻科の卒業認定方針は、医療人としての責任を自覚し、医療サービスを提供する専門職であることを認識して、他の医療職種との連携を図ることのできるコミュニケーション能力を持っていること。また、変遷する医療機器に対応できるよう、常に向上心を持ち、変化に取り組むことのできる能力を持っていることとする。